

## 第6 地域保健課

### 1 医療業務

#### (1) 平成23年度医療監視（立ち入り検査）状況

病院等医療機関を科学的で、かつ、適正な医療を行う場にふさわしいものとするため、医療機関が医療法及び関係法令等に規定された人員及び構造設備を有し、かつ、適正な管理を行っているか否かについて、医療法第25条第1項の規定に基づいて立ち入り検査を実施した。

医療施設	指導監視件数
病院	8件
診療所	38件
歯科診療所	26件
助産所	1件
計	73件

#### (2) 市町村別医療施設数

(平成24年3月31日現在)

市町村名	施設名 病院	診療所		施術所		計
		一般	歯科	※1 (あ・は・き)	※2 (柔整)	
富士吉田市	1	50	31	57	19	158
都留市	3	18	13	25	12	71
大月市	1	21	13	11	6	52
上野原市	2	19	12	20	12	65
道志村		1	1	1	1	4
西桂町		2	2	2	1	7
忍野村		6	3	6	2	17
山中湖村		4	1	5		10
鳴沢村		1	1	2	1	5
富士河口湖町	1	19	13	29	6	68
小菅村		1				1
丹波山村		2	1			3
計	8	144	91	158	60	461

※1 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律による届出施設

※2 柔道整復師法による届出施設

(3) 医療従事者免許取扱状況及び市町村別医療従事者状況

ア 医療従事者免許（申請取り扱い件数）

（平成24年3月31日現在）

職種 種類	医師	歯科 医師	薬剤師	保健師	看護師	准看 護師	助産師	歯科 技工士
籍登録	3	1	1	10	36	6	10	1
書換	2	2	8	5	37	8	3	
再交付	1	1	1		3	1		
まっ消	1	1	1					
計	7	5	11	15	76	15	13	1

職種 種類	診療放射 線技師	臨床検 査技師	衛生検 査技師	理学 療法士	作業 療法士	視能 訓練士	計
籍登録	1	1		12	7		89
書換	1	2		1	2		71
再交付							7
まっ消							3
計	2	3		13	9		170

イ 市町村別医療従事者

（平成22年12月31日現在）

施設名 市町村名	医師	歯科 医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看 護師	歯科 技工士	歯科 衛生士	計
富士吉田市	94	37	85	22	14	330	82	15	44	723
都留市	42	14	45	13	2	181	114	16	19	446
大月市	29	19	31	11		97	48	3	24	262
上野原市	30	11	17	10		100	80	2	13	263
道志村	1	1		2		2	2			8
西桂町	3	2	2	3		6	4	1	3	24
忍野村	4	6	2	7		9	9		5	42
山中湖村	10	1	4	4		23	6		2	50
鳴沢村		1		3		3	2	1	3	13
富士河口湖町	54	18	43	9	17	168	34	9	17	369
小菅村	1					1	1			3
丹波山村	1	1		2			1			5
計	269	111	229	86	33	920	383	47	130	2208

(4) 地域保健医療計画に関すること

<富士・東部地域保健医療推進委員会>

地域の住民の健康、適正な医療提供体制の確保等富士・東部医療圏域内の保健、医療等の行政を総合的、計画的に推進することを目的として開催している。

（会議開催状況）

- ・ 推進委員会 7月15日
- ・ 富士北麓地域初期救急広報検討会 10月4日、12月19日

平成23年度 富士・東部地域保健医療推進委員会委員名簿

No.	役職名	氏名
1	富士吉田市長	堀内 茂
2	都留市長	小林 義光
3	大月市長	石井 由己雄
4	上野原市長	江口 英雄
5	道志村長	大田 昌博
6	西桂町長	石田 壽一
7	忍野村長	天野 康則
8	山中湖村長	高村 忠久
9	鳴沢村長	小林 優
10	富士河口湖町長	渡邊 凱保
11	小菅村長	降矢 英昭
12	丹波山村長	岡部 政幸
13	山梨赤十字病院長	宮岡 英世
14	富士吉田市立病院長	樫本 温
15	都留市立病院長	保坂 稔
16	大月市立中央病院長	新田 澄郎
17	上野原市立病院長	両角 敦郎
18	富士吉田医師会長	堀内 裕
19	都留医師会長	武井 治郎
20	北都留医師会長	小俣 二也
21	山梨県歯科医師会南都留支部	鷺見 よしみ
22	富士五湖消防本部消防長	早川 浩次
23	県看護協会富士東部地区支部	根本 とよ子
24	公益社団法人富士五湖薬剤師会	橋爪 美枝子
25	富士・東部愛育連合会	安留 紀久子
26	富士・東部保健所管内食生活改善推進員協議会	天野 智子
27	シチズンセイミツ株式会社	古屋 貴子
28	富士・東部管内養護教諭部会	渡辺 裕子
29	社会福祉法人障害者支援施設 宝山寮	森島 美香
30	認知症の人と家族の会(はまなしの会)	渡辺 スミ子
31	公募委員	(欠員)

全30名

平成23年度病院群輪番制病院運営事業 診療科別患者数等調

(事業者名 富士・東部地域保健医療推進委員会)

区 分		内科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	精神科	耳鼻咽喉科	脳神経外科	心臓血管外科	眼科
患者延数	休日(8時～18時)	2,971	116	1,073	1,111	250	9	131	575	12	83
	準夜(18時～22時)	3,910	160	1,112	1,265	242	9	131	774	9	62
	深夜(22時～翌8時)	2,009	69	408	404	219	22	86	553	7	18
計		8,890	345	2,593	2,780	711	40	348	1,902	28	163
延診療日数		366	366	366	366	366	366	366	366	366	366
1日平均患者数		24.29	0.94	7.08	7.60	1.94	0.11	0.95	5.20	0.08	0.45

区 分		循環器科	泌尿器科	皮膚科	透析科	麻酔科	放射線科	形成外科	その他	合計
患者延数	休日(8時～18時)	65	50	190	41	0	0	37	0	6,714
	準夜(18時～22時)	68	95	166	4	0	0	72	0	8,079
	深夜(22時～翌8時)	70	124	49	2	0	0	10	0	4,050
計		203	269	405	47	0	0	119	0	18,843
延診療日数		366	366	366	366	366	366	366	0	366
1日平均患者数		0.55	0.73	1.11	0.13	0.00	0.00	0.33	0.00	51.48

(5) 移植医療(骨髄バンク登録)

骨髄バンク登録希望者に対し、骨髄バンク制度の概要説明、骨髄バンク登録申込書記入等の書類手続き及びHLA型検査のための採血を行っている。

受付状況

年 度		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
件数	旧大月保健所	-	6	2	7	10	6	7	2	10
	旧吉田保健所	3	8	15						

※平成18年4月1日から旧大月保健所及び旧吉田保健所が統合して、富士・東部保健福祉事務所(富士・東部保健所)となっている。

※平成15年度旧大月保健所は上記の受付分のほか、管内で実施した集団登録において、37名の受付を行った。

## (6) 臓器移植関係

平成12年度より臓器移植を推進するため、臓器移植の正しい知識の普及と意思表示カードの配布などの活動をするためのボランティア活動を行っている。

国では、毎年10月を「臓器移植普及推進月間」としており、本県においても普及月間の一環として、以下のとおり各地で街頭キャンペーンを行なった。

開催日	場所	参加者	状況
平成23年10月2日(日)	J マート都留店、オーツル(ホームセンター)	約45名	ライオンズクラブメンバー、ボーイスカウト、腎臓病協議会、保健所職員が参加
	ショッピングセンターベル	約35名	

## (7) 衛生統計

国において実施されている衛生関係統計の基礎となるデータの収集を行っている。  
毎月市町村から送付される出生、婚姻、離婚、死亡、死産についての人口動態票の審査及び処理を行っている。

平成 22 年管内人口動態統計

市町村名	項目	出生	死亡	死産	婚姻	離婚
富士吉田市		441	515	11	250	96
都留市		233	344	2	124	54
大月市		147	359	6	117	51
上野原市		146	307	3	97	29
道志村		12	19	-	6	1
西桂町		23	34	1	16	4
忍野村		118	63	1	84	9
山中湖村		46	54	2	35	12
鳴沢村		17	43	1	9	12
富士河口湖町		232	210	6	137	45
小菅村		2	11	-	3	1
丹波山村		1	13	-	1	1
計		1,418	1,972	33	879	315

### 管内人口動態統計年次推移

項目	年	18			19		
		数	1~3月	4~12月	率	数	率
出生	(旧大月保健所)	561	130	1,092	5.9	1,470	7.5
	(旧吉田保健所)	897	236		8.8		
死亡	(旧大月保健所)	998	266	1,365	10.5	1,835	9.4
	(旧吉田保健所)	856	219		8.4		
死産	(旧大月保健所)	16	6	28	27.7	30	20.0
	(旧吉田保健所)	21	3		22.9		
婚姻	(旧大月保健所)	364	-	-	3.8	943	4.8
	(旧吉田保健所)	571	-		5.6		
離婚	(旧大月保健所)	129	-	-	1.4	309	1.6
	(旧吉田保健所)	169	-		1.7		

(富士・東部保健所)

項目	年	20		21		22	
		数	率	数	率	数	率
出生		1,434	7.4	1,309	6.8	1,418	7.5
死亡		1,895	9.8	1,846	9.6	1,972	10.4
死産		30	20.5	33	24.6	33	22.7
婚姻		932	4.8	873	4.5	879	4.6
離婚		329	1.7	314	1.6	315	1.6

出生率=年間出生数/10月1日人口×1,000

死亡率=年間死亡数/10月1日人口×1,000

死産率=年間死産数/年間出生数×1,000

婚姻率=年間婚姻届出件数/10月1日人口×1,000

離婚率=年間婚姻届出件数/10月1日人口×1,000

年間死産数=自然死産数+人口死産数

年間出生数=出生数+死産数

人口：山梨県常住人口調査

※平成 18 年 4 月に保健所の統廃合が行われたため、算出していない項目があります。

### 母性保護統計

(富士・東部保健所)

	18年	19年	20年	21年	22年	23年
人工妊娠中絶	152	165	106	152	100	111
不妊手術	5	3	0	0	0	0

平成 22 年 選択死因別死亡者数

項目	市町村名																合計
	富士吉田市	都留市	大月市	上野原市	道志村	西桂町	忍野村	山中湖村	鳴沢村	富士河口湖町	小菅村	丹波山村					
結核	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
悪性新生物	146	89	107	78	5	8	17	19	6	61	2	2	-	-	-	540	
糖尿病	4	5	9	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	22	
高血圧性疾患	8	-	3	1	-	-	4	-	-	1	-	-	-	-	-	17	
心疾患	81	56	56	51	5	6	11	8	7	32	2	1	-	-	-	316	
脳血管疾患	60	35	53	32	3	3	7	5	4	17	1	3	-	-	-	223	
大動脈瘤及び解離	4	2	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	9	
肺炎	36	30	40	29	1	4	5	5	1	20	4	1	-	-	-	176	
慢性閉塞性肺疾患	8	6	1	1	-	-	1	-	1	2	-	-	-	-	-	20	
喘息	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
肝疾患	7	6	2	7	1	-	1	1	1	3	-	-	-	-	-	29	
腎不全	10	12	7	9	-	1	2	4	2	2	-	-	-	-	-	49	
老衰	32	26	6	38	-	3	1	1	16	22	-	1	-	-	-	146	
不慮の事故	11	12	14	9	-	3	3	1	1	3	1	1	-	-	-	59	
自殺	16	7	10	5	-	-	3	1	-	5	-	-	-	-	-	47	
計	424	286	308	264	15	28	55	45	40	170	10	9	-	-	-	1,654	

(資料提供医務課)

## 2 感染症対策

感染症の予防及び感染症の患者の医療に関する法律（以下、感染症法）に基づき、感染症の発生予防、まん延防止対策を推進している。

### (1) 感染予防及び医療対策

#### ア 感染症発生動向調査

感染症発生動向調査事業の整備・確立により、感染症に関する情報の収集・還元を行い、地域関係機関への情報提供、住民へ流行状況を発信している。

#### イ 感染症診査協議会

感染症法に基づき、感染症指定医療機関の医師、感染症の患者の医療に関し学識経験を有する者、医療以外の学識経験を有する者からなる感染症診査協議会を設置している。

#### ウ 感染症のまん延防止・感染症危機管理体制

患者発生の届出や連絡により、初動調査・防疫措置を迅速に対応するため、保健所内の体制を整備している。発生届等から把握した地域や施設等での発生状況により、積極的疫学調査を行い、感染拡大防止策を実施している。なお、管内には2ヶ所の第二種感染症指定医療機関（富士吉田市立病院、大月市立中央病院）が設置されている。

#### (ア) 感染症発生届

平成23年度

分類	疾病名	件数
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3
五類感染症	麻しん	1
	アメーバ赤痢	1
	後天性免疫不全症候群	3
	ウイルス性肝炎	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1

#### (イ) インフルエンザ様疾患（集団かぜ）発生施設数

平成23年度

	休校	学年閉鎖	学級閉鎖
小学校	1	37	62
中学校	1	10	18
その他	3	1	10
計	5	48	90

(授業短縮除く)

※ 管内初発報告年月日：平成24年1月16日

※ 確認されたインフルエンザウイルス：インフルエンザ香港型（A/H3）

### (2) 新型インフルエンザ対策

2009年に発生したインフルエンザ（A/H1N1）については、国・県の行動計画等に基づいて対応した経過があり、その対応課題等を踏まえ、県では現在の「山梨県新型インフルエンザ行動計画（改定第2版）を平成23年12月20日に改定した。

所内では、今後の新たな発生に備え危機管理対策の一環として体制整備をはかるための業務継続計画（BCP）の班編制等を含む確認と発生時に適切な対応がとれるような研修・訓練を実施した。

- ①平成23年6月1日 全体研修 所内業務継続計画（BCP）の確認
- ②平成23年6月24日、27日 患者移送・疫学・消毒班によるN95マスク装着  
フィットテスト 25名
- ③平成24年2月22日 患者搬送訓練、疫学調査対応訓練 20名

### （3）感染症発生防止講習会等の実施

集団感染症防止策の徹底のため、インフルエンザ対策の他、ノロウイルスを中心とした感染性胃腸炎対策の出前講座などを社会福祉施設等へ実施した。

また、介護保険事業所への実地指導や医療施設立入り検査、給食施設巡回指導等においても各担当が指導を行なった。

日時		人数	対象	内容
平成23年4月28日	出前講座	30	新入職員	感染症の予防（エイズ・インフルエンザ）
平成23年6月22、23日	集団指導	200	介護保険事業所等	事業所における感染症対策実施状況
平成23年7月6日	出前講座	20	児童、職員（施設）	感染症の予防は手洗いから
平成23年7月12日	出前講座	30	介護者家族	感染症の予防
平成23年9月12日	出前講座	30	施設スタッフ	感染性胃腸炎発生時の施設内対応について
平成23年10月12日	出前講座	20	保護者及び子育て支援スタッフ	乳幼児感染症と予防接種
平成23年11月8日	出前講座	50	施設スタッフ	感染性胃腸炎発生時の施設内対応について
平成23年11月10日	出前講座	20	施設スタッフ	施設における感染症予防対策（ノロウイルス・インフルエンザ）
平成23年11月16日	出前講座	30	施設スタッフ	施設における感染症予防対策（ノロウイルス・インフルエンザ）
平成23年11月18日	出前講座	30	施設スタッフ	施設における感染症予防対策（ノロウイルス・インフルエンザ）食中毒の予防
平成23年11月30日	出前講座	60	ホテル従業員	食中毒の予防と感染症対策
平成23年11月30日	出前講座	25	施設スタッフ	ノロウイルスとインフルエンザ予防
平成23年12月5日	出前講座	30	施設スタッフ	施設における感染症予防対策（ノロウイルス）
平成24年2月7日	出前講座	70	ホテル従業員	インフルエンザ、ノロウイルス予防
平成23年7月～平成24年2月	介護保健事業所等実地指導	23施設	介護保険事業所等	
平成23年7月～11月	医療監視	56施設	診療所等	

#### (4) 肝炎対策

国内最大の感染症であるB型及びC型ウイルス性肝炎対策について、平成20年度から「肝炎患者インターフェロン治療助成事業」が開始されている。平成22年度から、①自己負担限度月額引下げ、②助成対象医療に核酸アナログ製剤治療を追加、③2回目以降のインターフェロン治療助成を開始、の3つの変更点があり、さらに平成23年度からテラプレビル、ペグインターフェロン、リバビリンの3剤併用療法を助成対象とした。

今後さらに治療が必要とされる感染者への早期治療の促進のため、患者が医療機関での治療を受けやすくすることで、肝硬変、肝がんの予防と感染防止の普及、健康保持を図ることが期待される。

平成23年度

肝炎治療医療費助成制度申請区分	申請件数
インターフェロン治療（新規）	30件
インターフェロン治療（2回目）	3件
ペグインターフェロン、リバビリン及びテラプレビルの3剤併用療法	4件
核酸アナログ製剤治療（新規）	13件
核酸アナログ製剤治療（更新）	56件

#### (5) 特定感染症予防対策

エイズ、STD及び肝炎の特定感染症の正しい知識普及啓発のために、特に若年層を対象にした事業を実施した。中学、高校生を対象としたエイズ知識普及啓発講習会の開催や県民の日のイベント等を利用して普及活動を行なった。

平成18年度からはHIV抗体検査の結果書を即日交付としたほか、夜間検査を開始しており、平成23年度は月に2回実施し、相談・検査体制の充実を図っている。

検査希望者にはHIV抗体検査のほか、特定感染症検査（クラミジア抗体・梅毒・B型肝炎抗原・C型肝炎抗体）を行なった。

ア 相談等件数・HIV抗体他特定感染症検査件数

平成23年度（件）

相談 来所	検 査								
	HIV抗体	確認検査	(再掲) 夜間検査	クラミジア	梅毒	B型肝炎	C型肝炎	HCV コア抗原	HCV RNA
10	145	2	39	115	114	117	118	2	2

イ 知識普及啓発講習会

平成23年度

開催日	開催場所	対象者	参加人数（人）
6月15日	上野原市立上野原中学校	3年生	112
6月17日	都留市立東桂中学校	3年生	70
6月22日	大月市立猿橋中学校	3年生	88
6月22日	山梨県立都留高等学校	定時制	11
6月29日	富士河口湖町立西浜中学校	3年生	15

7月6日	大月市立富浜中学校	3年生	39
7月12日	大月市立大月短期大学付属高等学校	全学年	349
10月28日	山梨県立富士北稜高等学校	1年生	280
11月16日	山梨県立ひばりが丘高等学校	昼間部	101
11月16日	山梨県立ひばりが丘高等学校	夜間部	15
11月22日	大月市立大月東中学校	3年生	88
12月1日	都留市立都留第一中学校	3年生	90
12月2日	上野原市立秋山中学校	3年生	17
12月14日	山梨県立谷村工業高等学校	全学年	321
12月15日	大月市立大月第一中学校	3年生	29
1月25日	日本大学明誠高等学校	1年生	328

#### ウ イベント等における普及啓発

実施日	イベント名	実施場所	内容
6月1日～7日	HIV 検査普及週間	富士・東部保健福祉事務所他	通常検査の拡充と夜間検査の実施(6月2日、6日)及び住民への検査 PR (チラシ配布等)
10月22日	県民の日 富士北麓会場	富士北麓公園	住民への普及啓発・検査 PR グッズの配布
11月29日～12月7日	世界エイズデー関連キャンペーン	富士・東部保健福祉事務所他	市広報やCATV及び地域情報誌を活用した普及啓発と検査周知 夜間検査の実施(11月29日、12月7日)

#### (6) 予防接種対策

予防接種は市町村が接種実施主体となり、疾病の流行阻止の観点に加え個人の発病・重症化防止策として実施している。定期予防接種は有効性や安全性が認められ、主に感受性者対策について感染症対策上重要であり、その目的に応じて地域住民に対し推奨されるものである。現在、県下の全市町村において接種機会の充実を図り、保護者の利便性を考慮した市町村相互乗り入れによる個別接種体制が整備されている。

定期接種の麻しん・風しん(MR)混合ワクチンは平成24年度まで3期(中学1年生)、4期(高校3年生)が導入され、流行阻止効果を得るため接種率95%以上を目指して接種の推進を図っている。また、平成22年度から県単独事業として子宮頸がん予防ワクチン接種促進事業を実施し、市町村が行う接種費用の助成について、さらに、平成23年度からヘモフィルスインフルエンザ菌b型(ヒブワクチン)ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンを含めたワクチン接種緊急促進事業も国事業として開始され、接種費用補助によるワクチン接種の推進や安全な予防接種に向けた市町村への支援を行った。

### 3 結核予防対策

結核患者は健診並びに予防接種の普及、抗結核薬の開発及び環境の改善により急激に減少しているが、患者の高齢化が進むとともに、発見の遅れ、受診の遅れによる患者の発生が見られる。

このため、各市町村で行う結核定期健診受診率の向上、特に高齢者の健診強化と乳幼児に対する予防接種（BCG）の徹底、患者管理及び感染予防対策を行っている。

結核 予 防 対 策 の 推 進	結核予防指導	結核予防思想の普及啓発と指定医療機関従事者及び結核予防関係者に対する必要な指導を行う。
	感染症診査協議会	一般患者の公費負担の適否、就業制限・入院勧告患者の措置決定を行う。
	定期健診	受診率向上のための市町村指導、患者の早期発見及びまん延防止を図る。
	管理検診及び接触者健診	要経過観察者、接触者の健診を徹底実施する。
	結核対策特別促進事業	結核予防の推進に資することを目的とし、普及啓発事業や定期健診の未受診者の受診を促進し、早期発見に努める。
	感染症発生動向調査	患者届出、医療費公費負担申請資料等を情報源とする登録患者データベースを作成し、患者管理業務に利用する。

#### (1) 健康診断の実施状況

平成 23 年 12 月末現在

区 分			対象施設数	対象者数	受診者数	間接撮影者数	直接撮影者数	検査結果		
								患者発見数	患者発見率	
定 期	事業者		345	6,782	6,373	2,007	4,366	0	0	
	学 校 長		19	4,444	4,409	4,405	4	0	0	
	内 訳	高等学校	11	2,174	2,169	2,166	3	0	0	
		大学（短大）	5	2,193	2,163	2,162	1	0	0	
		そ の 他	3	77	77	77	0	0	0	
	施 設 長		18	818	766	135	631	0	0	
	市 町 村 長		12	46,640	7,674	6,372	1,302	0	0	
	内 訳	一 般 住 民	65歳以上		46,640	7,674	6,372	1,302	0	0
			その他		0	0	0	0	0	0

(2) 市町村別結核定期健診・予防接種実施状況

平成23年12月末現在

	人 口	対象者数	受診者数	受診率	B C G		
					対象者数	6ヶ月未満	6ヶ月以上1歳未満
富士吉田市	50,180	12,010	1,221	10.2	425	339	4
都 留 市	33,451	7,683	1,527	19.9	225	224	0
大 月 市	27,659	8,368	1,229	14.7	138	116	1
上野原市	26,639	7,067	1,145	16.2	142	139	0
道 志 村	1,893	594	196	33.0	7	5	0
西 桂 町	4,510	1,096	269	24.5	30	27	0
忍 野 村	8,740	1,279	315	24.6	94	90	0
山中湖村	5,299	1,384	386	27.9	47	38	1
鳴 沢 村	2,954	822	197	24.0	19	17	0
富士河口湖町	25,519	5,697	709	12.4	240	239	0
小 菅 村	804	320	242	75.6	6	6	0
丹波山村	660	320	238	74.4	2	2	0
合 計	188,308	46,640	7,674	16.5	1,375	1,242	6

※ 人口は平成23年10月1日現在の推計人口

(3) 市町村別登録者状況

ア 新登録者及び除外者状況

平成23年12月末現在

	前年末数	新規				除外						本年末数	
		新登録	管外転入	管内転入	小計	死亡		観察不要	管外転出	管内転出	その他		小計
						結核死	その他						
富士吉田市	9	11			11		3	3			1	7	13
都留市	8	3			3		2	1				3	8
大月市	12	1	2		3		1	2				3	12
上野原市	13	5			5			2				2	16
道志村	1				0							0	1
西桂町	0				0							0	0
忍野村	8	2	1		3		1	1				2	9
山中湖村	0				0							0	0
鳴沢村	0				0							0	0
富士河口湖町	4	2			2	1			1			2	4
小菅村	0				0							0	0
丹波山村	1				0							0	1
合計	56	24	3	0	27	1	7	9	1	0	1	19	64





(4) 感染症診査協議会の状況

平成23年度

	諮問件数	答 申 件 数		
		決定件数	否決件数	保留件数
法20条1項	9	9	0	0
法20条4項	10	10	0	0
法37条の2	38	38	0	0
出席回数	22回			

(5) 患者管理検診及び患者家族健診実施状況

ア 管理検診

平成23年度

	対象者数	受診者数	受診率 (%)	診察指導	直接撮影	喀痰検査		断層写真	特殊撮影
						塗抹	培養		
委託医療機関	36	31	86.1	31	29	7	6	0	0

イ 家族・接触者健診 (他の保健所からの依頼分含む)

平成23年度

	対象者数	受診者数	受診率 (%)	診察指導	ツ反	BCG	直接撮影	喀痰検査		断層写真	特殊撮影	QFT検査
								塗抹	培養			
保健所 (検査は検査機関へ委託)	138	133	96.4	133								133
委託医療機関	156	152	97.4	152	51	0	118	6	6	0	0	
計	294	285	96.9	285	51	0	118	6	6	0	0	133

※ 保健所における健康診断 (QFT 検査を除く) は平成18年3月をもって終了。

(6) 結核定期病状調査事業

平成23年度

区 分		報告書受理件数
要医療者	医療費公費負担の申請を行ってない者	0
	医療費公費負担承認期間が終了した後、再申請を行わなかった者	0
	その他治療の中断が考えられる者	0
経過観察者	管理検診を要する対象者であって、保健所において検診結果が把握できていない者	7
計		7件

## 4 精神保健福祉対策

社会の複雑化、高齢化に伴い、子どもから老人に至るまで、心の健康を損なう者が増加している。このような状況の中で、保健所を中心とした地域精神保健福祉活動がますます重要になってきているが、その活動状況は次のとおりである。

### (1) 市町村別措置入院者数

(平成23年度)

	富士吉田市	都留市	大月市	上野原市	道志村	西桂町	忍野村	山中湖村	鳴沢村	富士河口湖町	小菅村	丹波山村	計
措置入院者数		4	1	1						1			7

### (2) 市町村別自立支援医療受給者及び精神保健福祉手帳所持者数

(平成24年3月末現在)

	富士吉田市	都留市	大月市	上野原市	道志村	西桂町	忍野村	山中湖村	鳴沢村	富士河口湖町	小菅村	丹波山村	計
自立支援医療(精神)	343	192	232	197	7	30	29	20	16	120	0	3	1,187
手帳	266	148	153	143	5	19	11	15	18	78	2	3	862

### (3) 精神障害者通報等件数

(平成23年度)

	申請通報件数	診察不要と認められた者	診察を受けた者		措置入院した者	措置入院に該当しない者
			精神障害者	障害者でない者		
診察及び保護申請						
警察官通報	16	1	15	0	7	8
検察官通報	1		1			1
保護観察所長の通報						
矯正施設長の通報						
精神病院管理者の届						
計	17	1	16	0	7	9

### (4) 相談、訪問指導

(平成23年度)

	電話相談	来所相談	医師相談	巡回相談	訪問指導	計
一般	562	67	2	0	107	738
高齢者	24	0	0	0	5	29

### (5) いのちのセーフティネット体制推進事業

#### ①いのちをつなぐ青木ヶ原ネットワーク会議

日時	場所	内容	参加者数
平成23年 5月23日	富士吉田合同庁舎	第1回ネットワーク会議 ・青木ヶ原樹海における自殺等の概要について ・平成22年度事業実施状況について ・平成23年度の取り組みについて	41名

平成 23 年 7 月 5 日	富士吉田合同庁舎	部会 (ボランティア部会)	22 名
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・いのちをつなぐボランティア養成について</li> <li>・青木ヶ原等自殺対策調査研究事業について</li> <li>・青木ヶ原樹海パトロールボランティアについて</li> </ul>	23 名
平成 23 年 10 月 26 日	富士河口湖町役場	部会 (相談窓口広報部会)	21 名
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自殺企図者対応の手引きの改訂について</li> <li>・情報提供の効果的なあり方について</li> </ul> 第 2 回ネットワーク会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各部会からの報告</li> <li>・構成員からの報告</li> <li>・平成 24 年度以降の取組みについて</li> </ul>	31 名

②いのちをつなぐボランティア養成講座

日 時	場 所	内 容	参加者数
平成 23 年 12 月 15 日	鳴沢総合センター	講演 『うつ病と自殺をほのめかす人への対応』 講師：山梨県立あゆみの家 事務長 小野 茂 氏 『青木ヶ原樹海における自殺防止活動の実際』 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい声かけ事業について</li> <li>・声かけデモンストレーション</li> </ul> 講師：西湖コウモリ穴案内所 川村 保彦 氏 意見交換 『声かけと自殺防止活動のこれから』 助言者：山梨県立あゆみの家 事務長 小野 茂 氏	41 名
平成 23 年 12 月 16 日	精進健康管理センター	講演 『うつ病と自殺をほのめかす人への対応』 講師：精神保健福祉センター 主幹 守屋 法子 氏 『青木ヶ原樹海における自殺防止活動の実際』 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい声かけ事業について</li> <li>・声かけデモンストレーション</li> </ul> 講師：西湖コウモリ穴案内所 川村 保彦 氏 意見交換 『声かけと自殺防止活動のこれから』 助言者：精神保健福祉センター 主幹 守屋 法子 氏	25 名

平成 23 年 12 月 22 日	富士吉田合同庁舎	講演 『うつ病と自殺をほのめかす人への対応』 講師：精神保健福祉センター 主幹 守屋 法子 氏 『青木ヶ原樹海における自殺防止活動の実際』 ・ふれあい声かけ事業について ・声かけデモンストレーション 講師：西湖コウモリ穴案内所 斉木 弘導 氏 意見交換 『声かけと自殺防止活動のこれから』 助言者：精神保健福祉センター 主幹 守屋 法子 氏	18 名
----------------------	----------	--	------

### ③環境活動団体との交流会開催事業

日 時	場 所	内 容	参加者数
平成 23 年 12 月 13 日	富士河口湖町役場	第 1 部 自殺者対策 講演『自殺企図者を見つけた際の対処方法について』 講師：富士吉田警察署生活安全課 課長 三森 美保 氏 講演『自殺企図者への声かけについて』 講師：西湖コウモリ穴案内所 川村 保彦 氏 第 2 部 イメージアップ 意見交換『青木ヶ原樹海のイメージアップについて』 進行：環境科学研究所地域環境政策研究部 部長 本郷 哲郎 氏	49 名

### ④出張メンタルヘルス講座

小規模事業所や介護施設等を対象に、精神科医や精神保健福祉相談員によるメンタルヘルス出張講座及びメンタルヘルス相談を実施する。

日 時	場 所	内 容	参加者数
平成 23 年 6 月 14 日	都留市地域包括支援センター	「メンタルヘルスについて ～心の健康を保つには～」	63 名
平成 23 年 7 月 11 日	大月市社会福祉協議会	「こころの健康 メンタルヘルスについて」	34 名
平成 23 年 9 月 13 日	ポプラの木介護センター	「働く人のメンタルヘルス ～こころの健康を保つには～」	16 名
平成 23 年 10 月 3 日	吉田ガス	〃	38 名
平成 23 年 10 月 6 日	忍野村保健福祉センター	「こころの健康について」	17 名
平成 23 年 10 月 11 日	ポプラの木介護センター	「働く人のメンタルヘルス ～こころの健康を保つには～」	7 名
平成 23 年 12 月 7 日	西桂町いきいき健康福祉センター	「こころの健康について」	20 名
平成 24 年 3 月 8 日	富士吉田市立病院	「働く人のメンタルヘルス ～こころの健康を保つには～」	97 名

⑤心のケアサポーター養成講座

地域の民生委員、児童委員や自治会長など地域住民に密接した人々を対象に、自殺やうつ病に関する知識を提供し、自殺予防のゲートキーパーを養成ための講座を実施する。

日 時	場 所	内 容	参加者数
平成 24 年 2 月 16 日	富士吉田市環境美化センター	「地域のできるうつ予防 ～まずは周囲の気づき～」	83 名
平成 24 年 2 月 23 日	富士河口湖町中央公民館	〃	62 名

⑥地域セーフティネット連絡会議

管内の市町村及び地域の関係団体等で構成し、地域における自殺の現状や国・県の動向等の情報を共有する中で、地域ごとの課題を認識し、地域での取組を促進するために開催する。

日 時	場 所	内 容	参加者数
平成 24 年 3 月 21 日	富士吉田合同庁舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士・東部保健所管内の自殺の現状について</li> <li>・ミニ講義「地域のできる自殺予防 ～精神科医療の立場から」</li> <li>・情報交換 ～各構成機関・団体の取組～</li> <li>・その他</li> </ul>	32 名

(6) 精神障害者地域移行支援特別対策事業

精神科病院に入院している精神障害者のうち、症状が安定しており、受入条件が整えば退院可能である者に対し、病院・施設等と連携し、退院のための支援及び退院後の地域生活の支援を行うことにより、精神障害者の地域生活への移行を推進する。

圏域・地域体制整備コーディネーターとして関係機関と連携し、地域移行に必要な体制整備を行っている。

①地域移行に関する理解促進のための基礎研修会

日 時	場 所	内 容	参加者数
平成 24 年 3 月 14 日	いきいきプラザ都留	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話題提供 「ピアサポーターの活動報告」 講師 尾島 研一 氏</li> <li>・意見交換「ピアサポーターのあり方について」</li> </ul>	31 名

②富士・東部圏域精神障害者自立促進支援協議会(都留市地域活動支援センターむつみの家委託)

日 時	内 容	
平成 23 年 5 月 11 日	[全体会]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度事業実施体制、昨年度実績報告</li> <li>・事業の進捗状況報告(対象者 3 名)</li> <li>・意見、情報交換「平成 23 年度の取組み」</li> </ul>
平成 23 年 7 月 13 日	[定例会]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者の決定(1 名)</li> <li>・事業の進捗状況報告(対象者 3 名)</li> <li>・意見、情報交換「事業を利用して退院した方の意向調査」</li> </ul>
平成 23 年 9 月 14 日	[定例会]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の進捗状況の確認(対象者 4 名)</li> <li>・意見、情報交換「リカバリーフォーラムに出席して」</li> </ul>
平成 23 年 11 月 9 日	[全体会]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来意年度事業について</li> <li>・事業の進捗状況報告(対象者 4 名)</li> <li>・意見交換「今後の家族支援の方向性を考える」</li> </ul>
平成 24 年 1 月 11 日	[定例会]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の進捗状況報告(対象者 4 名)</li> <li>・意見、情報交換「アンケート調査について」</li> </ul>

平成 24 年 3 月 14 日	[定例会]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の今後について</li> <li>・事業の進捗状況報告（対象者 4 名）</li> <li>・意見、情報交換「アンケート結果について」</li> </ul>
---------------------	-------	--

**(7) 組織育成**

	患者会	家族会	断酒会	職親会	その他
支援件数	0	8	0	1	0

**(8) 社会適応訓練事業**

	訓練内容	対象者数
3 事業所	部品組み立て、製品梱包	5 名